

令和7年10月17日

流山市長 井崎 義治 様

流山市環境審議会
会長 新保 國弘



生物多様性ながれやま戦略の改定について（答申）

令和5年2月3日付け流環第855号により諮問のありました本件について、当審議会において真摯に審議を積み重ね、ここに答申書として生物多様性ながれやま戦略第三期（素案）を提出いたします。

平成22年3月に生物多様性ながれやま戦略を、また、平成30年3月に生物多様性ながれやま戦略第二期をそれぞれ策定し、「オオタカがすむ森のまちを子どもたちの未来へ」という戦略の理念のもと、戦略に沿って流山市の生物多様性の保全と回復に努めて来られました。しかしながら、生物多様性の保全と回復にはまだまだ道半ばであり、更なる取組みが求められます。

本素案には、これまで重点プロジェクトで実施してきた内容を踏まえ、東深井地区公園を拠点として追加するほか、「里山・谷津環境の保全・再生」に古間木地区を加えることとしています。

東深井地区公園については、市内唯一の地区公園であり、自然が多く残っているという貴重さを評価したものです。古間木地区については、当該地区の谷津が希少な生物を育む貴重な地区であり、保全の必要性が高いものと考えたためです。

大畔の森での保全・回復における経験を活かし、引き続き、生物多様性の保全・回復に取り組んでいただくことで本市の環境がより良いものとなるとともに、未来を担う子どもたちに流山市の豊かな自然環境を残せることを願い、ここに答申します。